

西堀榮三郎生誕120周年記念展

ふるさと
湖東地区から世界へ!

母校訪問

お帰り!先輩

7/1⑤-10/1①

講演会
7/18
火曜日

湖東地区
中里出身!

いそべ まさのり
磯部 昌徳

(元 気象衛星ひまわり8・9号
プロジェクトマネージャー)

講演会
9/22
金曜日

湖東地区
南菩提寺
出身!

こじま ともし
小島 知子

(PM2.5などの研究者)

滋賀県東近江市の湖東地区出身の
技術者・磯部昌徳さんと、研究者・小島知子さん
を紹介する展示です。
気象衛星ひまわりの開発秘話や、PM2.5などの
微粒子研究といった仕事の内容と合わせて、お
二人の子ども時代のエピソードや湖東地区へ
の思いなどをご覧ください。

気象庁「ひまわり8号による初画像」
https://www.data.jma.go.jp/sat_in-
fo/data/web/89/parts/89/himawari8_first_image/trc/trc_LL.jpg
を加工して作成

母校・湖東中訪問

東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂

【住所】527-0135 滋賀県東近江市横溝町419番地

【入館料】大人300円 小・中学生150円 ※東近江市民は無料

【休館日】月・火曜日、国民の祝日、7/19(水)、9/20(水)

【開館時間】10:00から18:00まで(入館は17:30まで)

【メール】tanken@city.higashiomi.lg.jp

【TEL】0749-45-0011 【FAX】0749-45-3556



公式サイト



世界を舞台に活躍している先輩がいる！

湖東地区出身で、世界を舞台に活躍しているお二人を紹介する展示と講演会を行います。「南極に行きたいという11歳のころの夢は、54歳になって叶った。諦めずに、努力を続ければ、必ず夢は叶う」西堀榮三郎が、湖東中学校での講演会でこの言葉を残してから54年。今年、西堀榮三郎生誕120周年を迎えます。かつての西堀のように自分の可能性を信じ、世界で活躍しているお二人の先輩をご紹介します。

気象衛星ひまわりと磯部さん

大気中の
微粒子物質の測定装置と小島さん

★ 講演会



気象庁
ひまわり9号の初画像

7/18
火曜日

「母校訪問—お帰り! 磯部先輩」
人工衛星と気象衛星ひまわり8号

人工衛星を見たことない人も多いと思いますが、実はいろんなところで使われていて、今や私たちの生活に欠かせないものになっています。

そんな人工衛星が何をしているのか? なんで落ちてこないで飛べるのか? どうやって作っているのかを紹介します。

ひまわり8号の性能や開発秘話、大きなプロジェクトを動かす苦労についてもお話します。是非宇宙を身近に感じて、大きな夢にチャレンジしてみてください。

1962 東近江市旧湖東町(中里)出身
湖東第一小学校、湖東中学校卒業
1985 三菱電機株式会社入社、
鎌倉製作所衛星電源設計部門に配属
2001 ひまわり7号の衛星システム設計部門へ
異動
2009 ひまわり8号・9号の開発責任者に
2019 三菱スペース・ソフトウェア株式会社へ
転籍(技術統括部長)
2022 会社統合により三菱電機ソフトウェア
株式会社(技術推進部長)



磯部 昌徳

9/22
金曜日

「母校訪問—お帰り! 小島先輩」
サイエンスとは「知ること」

目に見えないほど小さな微粒子が地球や私たちに与える影響や、宇宙から飛来する隕石を調べて太陽系の成り立ちを探る研究についてお話します。

豊かな自然に囲まれて、身のまわりの様々な現象が投げかけてくる謎を解く面白さ、楽しさに気づいてもらえたらいいな、と思います。たくさんのお話を聞けば知るほど、面白いことは増えていきます。

大学での理学教育についてもお話します。

1967 東近江市旧湖東町(南菩提寺)出身
湖東第二小学校、湖東中学校卒業
1995 神戸大学 理学部
地球惑星科学科 助手
2017 熊本大学 大学院
先端科学研究部 准教授



小島 知子

現在の専門は大気環境学。主に電子顕微鏡を使って大気中の微小粒子(エアロゾル粒子)を調べ、粒子の運ばれ方や気候や環境への影響を調べている。

参加費無料! **開催情報** ※どなたでもご参加可能です。

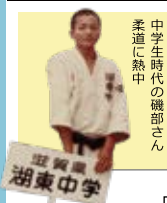
曜日 7/18(火)
時間 19:30~21:00

曜日 9/22(金)
時間 19:30~21:00

開催場所 湖東コミュニティセンター 別館ホール(滋賀県東近江市池庄町495番地)

申込み先 **0749-45-0950** **050-5802-3393**
担当 小島(湖東地区まちづくり協議会) (湖東コミュニティセンター別館)

要事前申込



中学生時代の磯部さん
柔道に熱中

中学生時代の小島さん
人笑わすのが
好きな子ともなった

